

第79回SGRAフォーラム

東アジア文化記憶の再読 ——響きあう言葉と感性

第79届SGRA论坛

重读东亚文化记忆 ——语言与感性的共鸣

2026年6月27日 開催/举办

当日の写真 当天的照片



宋晗先生（フェリス女学院大学、2017年度ラ
クーン、写真左）の司会でフォーラムが始まり、
共催の東京科学大学 リベラルアーツ研究教育院
を代表して室田真男先生（右）から開会の辞を
いただきました。



论坛在宋晗教授（菲利斯女学院大学，2017年度
渥美奖学金获得者，左）的主持下拉开帷幕。作
为联合主办方东京科学大学教养教育研究院的代
表，室田真男教授（右）致开幕辞。



藤井省三先生（東京大学名誉教授）の基調講演では、南吉が魯迅文学を深く読み込み、日中戦争期の中国の民衆に鋭い共感を寄せていたことが明らかにされ、「郷土の童話作家」という枠を超えた南吉の世界文学的な側面が提示されました。さらには魯迅—南吉—村上春樹という系譜的關係が成立する可能性も示されました。

藤井省三教授（東京大学名誉教授）在主旨演讲中指出，新美南吉曾深入研读鲁迅的文学作品，对中日战争时期中国民众的处境寄予了深切的共情，从而展现了新美南吉超越“乡土童话作家”这一定位、具有世界文学意义的一面。此外，藤井教授还提出了鲁迅—新美南吉—村上春树之间可能存在谱系性关联。



第1部【越境と接触】の発表者丁乙先生
（北海道大学、2022年度ラクーン、写真
左）と黄詩琦先生（中山大学、右）



第一场“越境与接触”的发表者：丁乙老
师（北海道大学，2022年度渥美奖学金获
得者，左）与黄诗琦老师（中山大学，
右）。



第2部【言語と感情】の発表者賈海涛先生（一橋大学、2023年度ラクーン、写真左）と吳天舟先生（復旦大学、右）



第二场“语言与情感”的发表者：贾海涛老师（一桥大学，2023年度渥美奖学金获得者，左）与吴天舟老师（复旦大学，右）。



第3部【文化と表象】の発表楊冠穹先生
（東京科学大学、2017年度ラクーン、写真
左）と八木 はるな先生（中央大学、右）



第三场“文化与表象”的发表者：杨冠穹老
师（东京科学大学，2017年度渥美奖学金
获得者，左）与八木春奈老师（中央大学，
右）。



討論者の陳言先生（首都師範大学、写真左）、龔艷先生（上海師範大学、中）、吉川龍生先生（慶應義塾大学、右）

评论者：陈言老师（首都师范大学，左）、龔艳老师（上海师范大学，中）、吉川龙生老师（庆应义塾大学，右）。

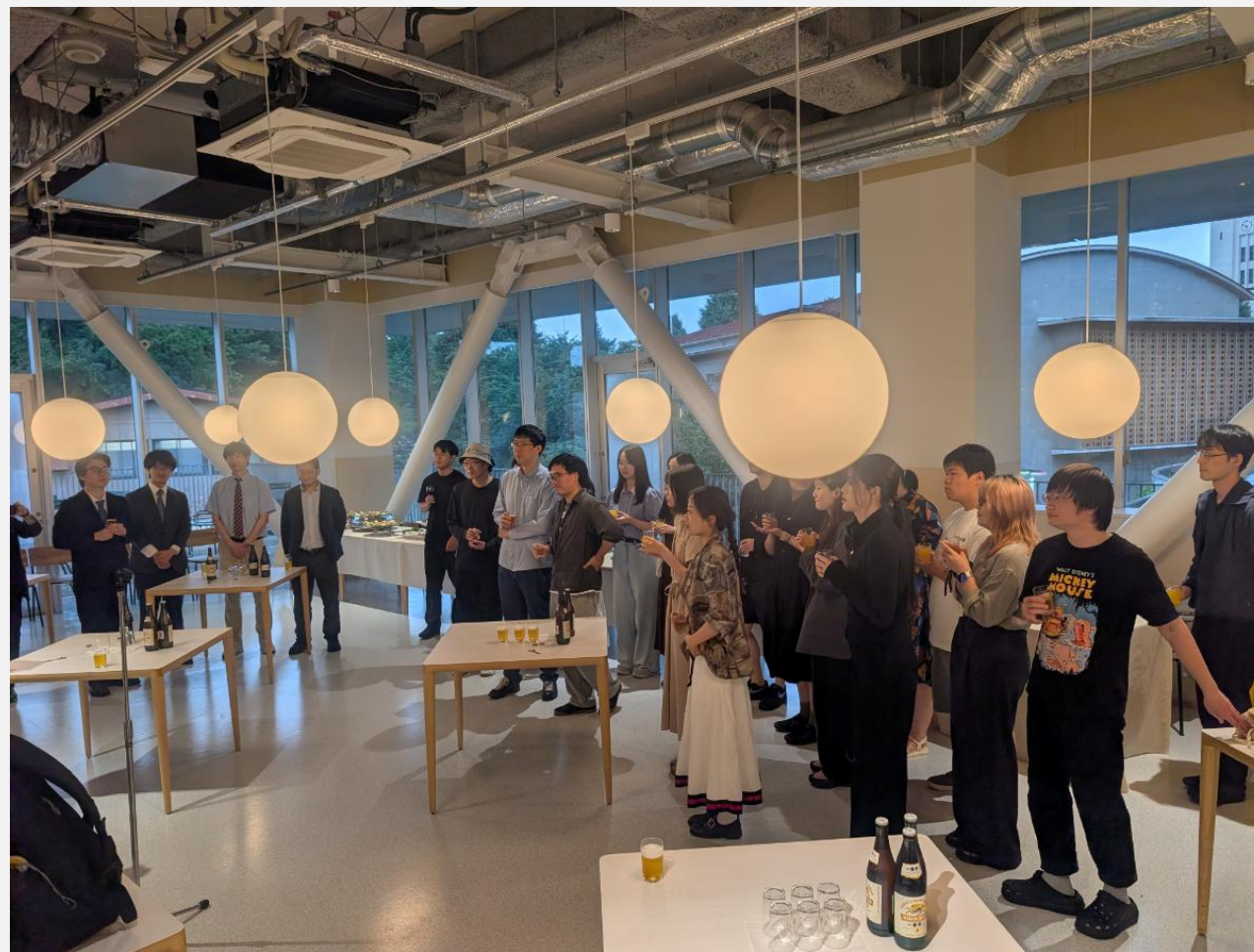


討論者の先生方のコメントを受けて、登壇者全員による総合討論が行われました。

在各位评论者老师的点评基础上，所有发表者共同参与了综合讨论。



フォーラムの後は東京科学大学内の食堂で懇親会が開催されました。基調講演の藤井先生を囲んで和やかな会となりました。



论坛结束后，东京科学大学校内食堂举办了交流会。与会者围绕主旨演讲嘉宾藤井教授，气氛融洽，相谈甚欢。



台風の影響が心配されましたが、会場にも多くの方にお集まりいただき、オンラインと合わせて200名近い方々にご参加いただきました。ご参加くださったみなさま、どうもありがとうございました。

虽然曾担心台风带来的影响，但当天仍有许多嘉宾亲临会场参加活动，加上线上参会者，共有近200人参与了本次论坛。衷心感谢各位的参与和支持。